

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-263356

(P2004-263356A)

(43) 公開日 平成16年9月24日(2004.9.24)

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

A41B 15/00

F1

A41B 15/00

テーマコード(参考)

3B029

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全7頁)

(21) 出願番号	特願2003-103380 (P2003-103380)	(71) 出願人	503129176 田巻 尚憲 東京都墨田区横川5丁目9番4-1204号
(22) 出願日	平成15年3月3日(2003.3.3)	(72) 発明者	田巻 尚憲 東京都墨田区横川5丁目9番4-1204号
		(72) 発明者	田巻 修憲 東京都墨田区横川5丁目9番4-1204号
		Fターム(参考)	3B029 GA04

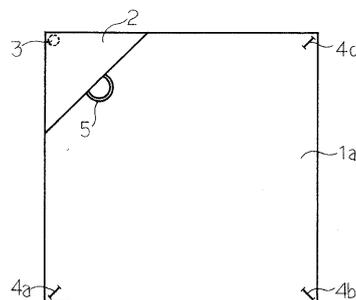
(54) 【発明の名称】 ヴァイオリン用あご当てハンカチ

## (57) 【要約】

【課題】 大変高価なヴァイオリンを演奏中の汗による汚れから守り、汗による湿気から起る故障を軽減することができ、激しい演奏中もずれること無く安定しており、演奏の休止状態においても外す面倒のないヴァイオリンのあご当て部分に被せるハンカチを提供する。

【解決手段】 ハンカチ本体表面(1a)の一つの角に三角形状布(2)をポケット状になるように縫い付け、その三角形状布(2)のポケット口にあたる長辺端部(9)に伸縮性紐(5)を取付け、さらにその三角形状布(2)が取り付けられている角に於いて、ハンカチ本体裏面(1b)にボタン(3)を角端に取付け、他の三つの角の端部にはボタン(3)に見合うボタンホール(4)を斜め45度の傾きでそれぞれ開けることを特徴とする。

【選択図】 図1



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

ハンカチ本体表面(1a)の一つの角に三角形状布(2)をポケット状になるように縫い付け、その三角形状布(2)のポケット口にあたる長辺端部(9)に伸縮性紐(5)を取付け、さらにその三角形状布(2)が取り付けられている角に於いて、ハンカチ本体裏面(1b)にボタン(3)を角端に取付け、他の三つの角の端部にはボタン(3)に見合うボタンホール(4)を斜め45度の傾きでそれぞれ開けてなるヴァイオリン用あご当てハンカチ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

10

## 【発明の属する技術分野】

この発明は、ヴァイオリンを演奏中の汗から守る為に、ヴァイオリンのあご当て部分に被せて使用するヴァイオリン用あご当てハンカチに関するものである。

## 【0002】

## 【従来の技術】

一台数百万円以上の物も多い大変高価な芸術品でもあるヴァイオリンであるが、従来、演奏中の汗からそのヴァイオリンを保護する手段は無かった。その為、通常のハンカチを四つ折にしてヴァイオリンのあご当て部分に乗せて演奏していた。

## 【0003】

## 【発明が解決しようとする課題】

20

これは次のような欠点があった。

(イ)演奏中の汗などにより、ヴァイオリンは汚れたり、塗装部分が禿げたりし易かった。さらに、汗による湿気によりあご当ての金具などが傷んだり、最悪の状態では、膠で接合されているヴァイオリンの表板と裏板とが剥離し、隙間が開いてしまうという故障につながる。木製である板そのものも傷めてしまう。この事は、響きが命であるヴァイオリンの演奏にとって致命的であり、多くの演奏家が悩まされている問題である。また、故障してしまうと修理にも時間が掛かり、費用も高額になるので演奏家の負担は大きい。

(ロ)ハンカチを四つ折にしてヴァイオリンのあご当て部分に乗せて使用した場合、ヴァイオリンの激しい演奏では、ずれたり落としたりと大変不安定である。さらに、オーケストラ演奏などで休止の状態の時に、ハンカチを手を持っていなければならない、大変不便であった。

30

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

## 【0004】

## 【課題を解決するための手段】

ハンカチ本体表面(1a)の一つの角に三角形状布(2)をポケット状になるように縫い付ける。その三角形状布(2)のポケット口にあたる長辺端部(9)には伸縮性紐(5)が取り付けられている。さらに、その三角形状布(2)が取り付けられている角に於いて、ハンカチ本体裏面(1b)にボタン(3)を角端に取付け、他の三つの角の端部にはボタン(3)に見合うボタンホール(4)を斜め45度の傾きでそれぞれ開ける。

本発明は、以上のような構成よりなるヴァイオリン用あご当てハンカチである。

40

## 【0005】

## 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について説明する。

(イ)ハンカチ本体(1)は柔らかく、肌触りの良い吸湿性の高い生地で、正方形である。このハンカチ本体裏面(1b)の一つの角にボタン(3)を角端に取付け、他の三つの角の端部にはボタン(3)に見合うボタンホール(4)を斜め45度の傾きでそれぞれ開ける。

(ロ)図3に示すように、三角形状布裏面(2b)のポケット口にあたる長辺端部(9)のほぼ中央に、二ヶ所の切り込みを入れて舌状布(10)とし、その舌状布(10)で伸縮性紐(5)を輪にして挟み、その舌状布(10)を三つ折とし、三つ折した両側の長辺

50

端部(9)と共に端縫いする。

(八) 図4に示すように、ハンカチ本体表面(1a)の角、ちょうどハンカチ本体裏面(1b)に於いてボタンの付いている角に、先の伸縮性紐(5)が縫い付けられている三角形状布(2a)を合わせ、ハンカチ本体(1)の辺端(12a)と三角形状布(2)の短辺端(11a)を一緒に端縫い処理する。同様にしてハンカチ本体(1)の辺端(12b)と三角形状布(2)の短辺端(11b)を一緒に端縫い処理することにより三角形状布(2)はポケット状になる。

(二) この三角形状布(2)の短辺端(11a)と(11b)はハンカチ本体(1)の辺端(12a)と(12b)の長さの二分の一以下でなければならない。

本発明は以上のような構成で、これを使用するときは、図5に示すように、ハンカチ本体(1)を横に二つ折とし、ハンカチ本体裏面(1b)のボタン(3)にボタンホール(4c)を掛ける。さらに、縦二つ折し、図6に示すようにボタンホール(4b)、ボタンホール(4a)の順で掛け、ハンカチ本体(1)を四つ折とする。これはハンカチ本体(1)を縦に二つ折とし、ボタンホール(4a)から掛けていく方法でも良い。この四つ折した状態で、図10に示すように、伸縮性紐(5)を伸ばし広げ、ヴァイオリン(6)のあご当て(7)に掛け、三角形状布(2)があご当て(7)の裏に入り、ハンカチ本体(1)はあご当て(7)の表面に被せる。

この状態で演奏することにより、汗はハンカチ本体(1)が吸収しヴァイオリンを守る。伸縮性紐(5)はあご当て(7)の支柱(8)に掛けられているので、三角形状布(2)は、激しい演奏中에서도外れる事はない。さらに、休止状態に於いても取る必要もない。なお、図12に示すように、三角形状布(2)のポケット口は滑らかな曲線でも良い。また、ヴァイオリンの他、同じ演奏方法を取るピオラについても同様に使用する事ができる。

【0006】

【発明の効果】

本発明を使用することにより、大変高価なヴァイオリンを演奏中の汗による汚れから守り、汗による湿気から起る故障を軽減することができる。激しい演奏中も安定しており、演奏の休止状態においても外す面倒がない。また、四つ折した厚みにより、演奏によるあごへの負担を軽減することにもなる。美しい生地とボタンにより演奏の概観を損ねることもない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の構成図である。

【図2】本発明のハンカチ本体の裏面図である。

【図3】本発明の三角形状布の伸縮性紐取付け説明図である。

【図4】本発明のハンカチ本体と三角形状布の取付け説明図である。

【図5】本発明の使用状態にする手順説明図である。

【図6】本発明の使用状態にする手順説明図である。

【図7】本発明のハンカチ本体のボタン側の使用状態完成図である。

【図8】本発明のハンカチ本体の三角形状布側の使用状態完成図である。

【図9】ヴァイオリンのあご当ての部分図である。

【図10】本発明おける、あご当てに伸縮性紐を掛ける説明図である。

【図11】ヴァイオリンのあご当てに本発明のヴァイオリン用あご当てハンカチを被せた状態を示す使用状態図である。

【符号の説明】

- 1       ハンカチ本体
- 1 a     ハンカチ本体表面
- 1 b     ハンカチ本体裏面
- 2       三角形状布
- 2 a     三角形状布表面
- 2 b     三角形状布裏面

10

20

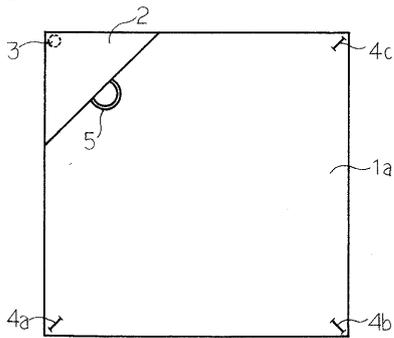
30

40

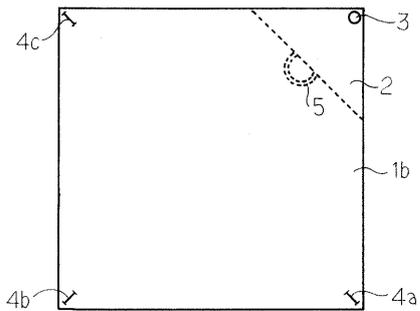
50

- 3 ボタン
- 4 ボタンホール
- 4 a ボタンホール
- 4 b ボタンホール
- 4 c ボタンホール
- 5 伸縮性紐
- 6 ヴァイオリン
- 7 あご当て
- 8 支柱
- 9 長辺端部
- 10 舌状布
- 11 a 短辺端
- 11 b 短辺端
- 12 a 辺端
- 12 b 辺端

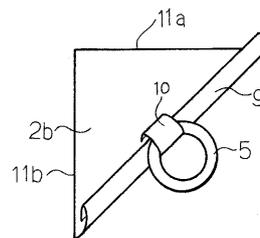
【 図 1 】



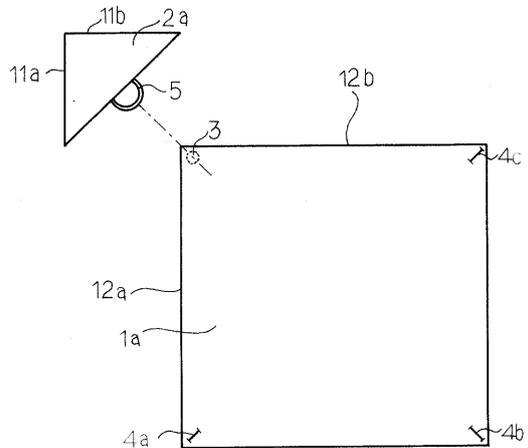
【 図 2 】



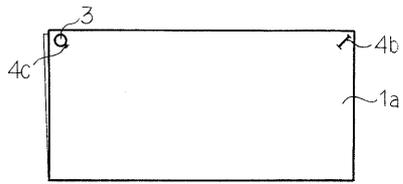
【 図 3 】



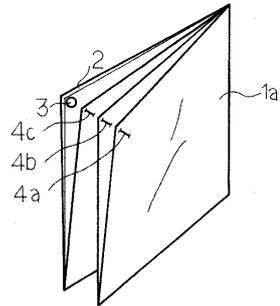
【 図 4 】



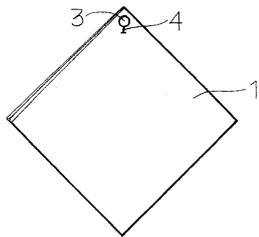
【 図 5 】



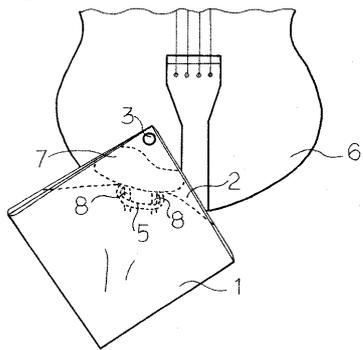
【 図 6 】



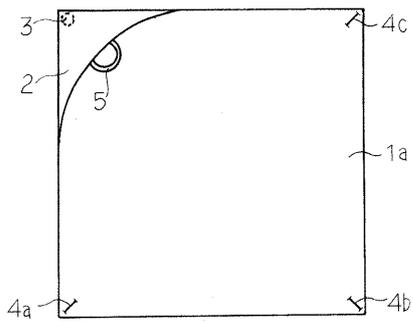
【 図 7 】



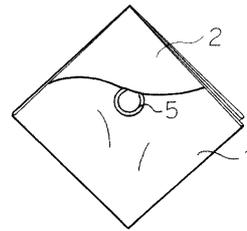
【 図 11 】



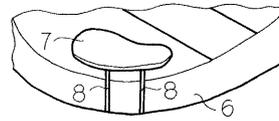
【 図 12 】



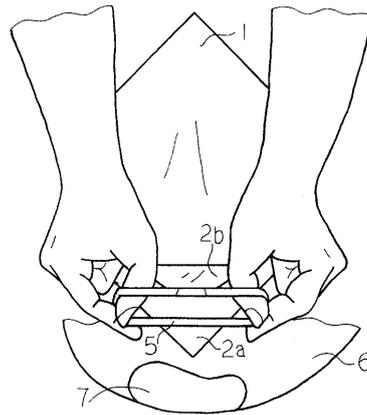
【 図 8 】



【 図 9 】



【 図 10 】



## 【手続補正書】

【提出日】平成15年5月19日(2003.5.19)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の構成図である。

【図2】本発明のハンカチ本体の裏面図である。

【図3】本発明の三角形状布の伸縮性紐取付け説明図である。

【図4】本発明のハンカチ本体と三角形状布の取付け説明図である。

【図5】本発明の使用状態にする手順説明図である。

【図6】本発明の使用状態にする手順説明図である。

【図7】本発明のハンカチ本体のボタン側の使用状態完成図である。

【図8】本発明のハンカチ本体の三角形状布側の使用状態完成図である。

【図9】ヴァイオリンのあご当ての部分図である。

【図10】本発明おける、あご当てに伸縮性紐を掛ける説明図である。

【図11】ヴァイオリンのあご当てに本発明のヴァイオリン用あご当てハンカチを被せた状態を示す使用状態図である。

【図12】本発明の他の実施例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 ハンカチ本体
- 1 a ハンカチ本体表面
- 1 b ハンカチ本体裏面
- 2 三角形状布
- 2 a 三角形状布表面
- 2 b 三角形状布裏面
- 3 ボタン
- 4 ボタンホール
- 4 a ボタンホール
- 4 b ボタンホール
- 4 c ボタンホール
- 5 伸縮性紐
- 6 ヴァイオリン
- 7 あご当て
- 8 支柱
- 9 長辺端部
- 10 舌状布
- 11 a 短辺端
- 11 b 短辺端
- 12 a 辺端
- 12 b 辺端

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハンカチ本体表面(1a)の一つの角に三角形状布(2)をポケット状になるように縫い付け、その三角形状布(2)のポケット口にあたる長辺端部(9)に伸縮性紐(5)を取付け、さらにその三角形状布(2)が取り付けられている角に於いて、ハンカチ本体裏面(1b)にボタン(3)を角端に取付け、他の三つの角の端部にはボタン(3)に見合うボタンホール(4)をそれぞれ開けてなるヴァイオリン用あご当てハンカチ。